

1. 主題：化学工学会 SIS-CE 分科会（関東）定例会合
 2. 日時：2016年1月29日（金） 14:00～18:00
 3. 場所：三井造船株式会社（幕張）、281会議室
 4. 会議出席者（敬称略）：
注：カッコ内は欠席者
・三井造船：（寺澤、（橋本）、廣瀬） ・三井造船プラントエンジニアリング：砂山、（伊與）
・クボタ環境サービス：中森 ・月島機械：（村田）
・東洋エンジニアリング：（中島） ・テプロスエンジニアリング：（原）
 5. 議題及び議事録：
 - （1）会議の予定事項の説明
 - （2）3 分間スピーチ（メンバー各位）は今回、省略した。（討議事項が多い為）
 - （3）学習会（2015年秋季大会論文要旨を使用）：以下について資料配布と説明実施した。
 - ①「プラント EPC に於ける安全・品質管理の運用」（奈良橋著）…奈良橋氏説明
 - ②「建設工事における効率的なロジスティックスの提案」（清水著）…原氏説明
 - （4）メンバーからの資料提供、話題提供：今回提供なし。
 - （5）当分科会（SIS-CE）の今後の活動の活性化について議論した。
 - ①会合案内と議事録をHPでオープンにする事は実施するのが良い。（当分科会として手間はかからない）
 - ②会員増は是非、取り組むべきである。（手段1：会合案内のHPなどに募集記事掲載する。
手段2：今後の検討とする。

備考：当分科会は毎年秋季大会で4から5件ほどの研究発表を行っているが、特に新規会員にとってはこの発表はハードルが高いと感じる。

 - ③事業の一環としてセミナー会社と提携してのセミナー実施が考えられる。参加者は当分科会で集める、運営はセミナー会社、特別価格で実施、等。
 - ④大学生の教育用テキストとして、斉藤義巳さん著作のコストハンドブックの更新は当分科会としてできない。しかし、アスペンテックの概算見積ソフトウェアを使い、大原さんがセミナー用に作成された概算見積法の解説を組み合わせ、学生向け価格で販売するような方法も考えられる。アスペンテック社との相談（この案への参画と共同事業化）、大原さんの意向、当分科会として誰がこの件を推進（時間をかけられるか）するか、などが課題。
 - ⑤CE資格制度に関し、先日の分科会内でのアンケート結果では“必要”にマークした人はいない。これは部会(SIS)の要求ではないので、当分科会としてどこかで討議する必要がある。 - （6）2016年に取り組む調査・研究テーマ（関東会合、又は個人）の検討結果発表と討議
 - ①関東会合での調査研究テーマは今秋の秋季大会シンポジウムテーマとは別で良しとする。
 - ②関東会合での調査研究テーマは各自の業務に関連した事項、問題点などから選択する。
（自身の業務に関連したテーマでなければ、取組みが困難でありハードルも高い。）
このテーマについては次回、臨時会合に提示いただき、決定する。
6. 次回会合
 - （1）臨時会合 日時：2016年3月2日（水）、 15:00～18:00
 - （2）定例会合 日時：2016年4月14日（木）、14:00～17:30
場所はいずれも三井造船（海浜幕張）を予定。